

せせらぎ 6月号

『ぬいぐるみのおとまり会』

ぬいぐるみといっしょにお話を聞いたあと、ぬいぐるみは図書館におとまりします。

おはなし会：6月15日(日) 午前11時～11時30分

場 所：中央図書館 おはなしコーナー

おむかえ日：6月21日(土)・22日(日)

場 所：中央図書館カウンター

対 象：0歳～12歳で図書館利用カードをお持ちの方

定 員：6名・6体

受 付：5月24日(土)～ 中央図書館カウンターまたはお電話にてお申し込み下さい



『いきいき美容教室』

化粧の仕方が昔と同じという方、多いと思います。今を自分らしく、楽しい毎日を送るために今の自分に合った美容に関する教室を開催します。

化粧のちからで介護予防！健康寿命をのばして、いつまでも、元気に楽しく、美しく！

日 時：6月27日(金) 午後2時30分～

場 所：中央図書館ボランティア室

対 象：女性65歳以上 10名

参加費：無料

持ち物：ヘアブラシ

服 装：動きやすい服装

受 付：6月7日(土)～ 中央図書館カウンターまたはお電話にてお申し込み下さい



今月のおはなし会

4日(水) 午前11時～ 赤ちゃん向けよみきかせ

7日(土) 午後2時～ 絵本専門士のおはなし会

18日(水) 午前11時～ おはなし会&おたんじょう日会

21日(土) 午後2時～ 「野ばらの会」よみきかせ

22日(日) 午後2時～ 「あすなろの会」よみきかせ

場所：中央図書館 児童開架 おはなしコーナー

※ どなたでも参加できます

『絵本専門士』ってなあに？

絵本に関する高度な知識、技能を備えた絵本の専門家です。読み聞かせの大切さや、絵本の魅力を伝えるため、地域の読書活動の推進もしています。



今月の映画会

『正直不動産 SPECIAL』(95分)

内容紹介

嘘の付けない不動産営業マン・永瀬財地と、“カスタマーファースト”命の月下咲良の名コンビが、帰ってくる！
永瀬は「競売・家の差し押さえ」の危機に瀕した親友一家を、月下は「原野商法」の魔の手が迫る大祖父を、
救い出すべく奮闘する。

日時：6月28日(土) 午後2時～

場所：中央図書館 視聴覚室

入場無料・申込不要



～ 梅干 うめぼし ～

「好き嫌いをしないで食べなさい！」絶対に言われない言葉である。漬物が嫌いでも「栄養が…」なんて言葉は母親からは聞いたことがない。特に「梅干」はその最たるものだ。2000年前から存在する食べ物で、日本人には馴染み深いものではあるが、日本人、外国人問わず好き嫌いの分かれる食べ物だ。

梅干の歴史は古い。中国を発祥とした「白梅」(梅の実を塩水に漬けて調味料として用いるもの)や「烏梅」(うばい)がルーツとも言われている。「烏梅」とは未熟な梅の実をカゴに入れて燻して燻製にし、乾燥させたもので、熱冷ましや下痢止め解熱や傷の手当にも用いられていた。紅花染めや化粧用の紅の媒染剤にもなっている。これらが遣唐使によって日本に伝えられた。奈良時代には「梅干」としてではなく、生菓子として愉しまれていたようだ。平安時代になると、お馴染みの梅干となっていて健康維持や、疾病予防にも用いられるようになった。

村上天皇の御世、天徳4年(960年)は^{さるどし}申年。この頃京都に疫病が流行り、天皇自身も病に倒れた。この時、「梅干と昆布茶で病を克服した」という言い伝えが残っている。その時に食した梅干が申年の梅干だったことから「申年の梅は良い」「悪い事が“去る”」という事で、縁起物として重宝されている。

戦国時代には保存食としてだけでなく、傷の消毒、戦場での食中毒や伝染病の予防としてなくてはならない陣中食となった。食料袋に梅干を加工した「梅干丸」を携帯し、戦場で倒れた時や、元気を失った時に唾液を促すための息合いの薬として使われたそう。また戦略物資の一つとして、戦国武将は梅の植林を奨励した。現在でも梅の名所や梅干の名産地として残っている。江戸時代になると、現在の梅干の作り方とほぼ同じになり、紫蘇の葉で包んだものが珍重された。江戸末期には梅肉エキスの原型も考案された。

近代では戦争時の携帯食として、故郷を偲ぶ味として兵士らに重宝され、昭和期などは日の丸弁当が定番であった。はちみつ漬けやオリーブオイル漬け等様々な梅干が登場し、梅干が苦手な人にも食べやすい工夫されたものが増えた。また外国人が日本で始めて梅酒を知り、その美味しさに感銘を受けたという話も聞く。

6月は梅干を作り始める季節。梅シロップに梅酢も暑い夏に向けての暑さ対策になる。梅に漬けた赤しそは、乾燥させてふりかけにすると、市販品と違い風味豊かでまろやかな味わいだ。時間と手間暇をかけて自分好みの味に近づけていく作業は、実験をしているみたいでちょっと楽しい、贅沢な時間である。日本ならではの保存食、今この時期にしか作れないものだ。重い腰を上げて気合を入れて作ってみては如何だろうか。

6月の休館日

2日、9日、16日、23日、30日(すべて月曜日)

筑西市立中央図書館

〒308-0826 茨城県筑西市下岡崎 1-11-1

Tel: 0296-24-3530

ホームページ <https://library-city-chikusei.jp>

◆◇◆ お知らせ ◇◇◆

長時間滞在する場合は、温度調節のしやすい服装でご来館下さい。

熱中症予防の為、水分補給にもご注意下さい。

